

科目別特徴・シラバス

科目	科目 時間数	カリキュ ラム	項目	担当講師名	講義・演習内容	ねらい	備品
1. 職務の理解	6	講義 演習 4	(1)多様なサービスの理解 (2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	寺田 紀子 市川 賀津子 吉岡 誠仁 松本 有司	◎研修の構成と学習内容について ◎介護保険サービス・介護保険外のサービス等の種類 ◎ケアプランの位置付けとチームアプローチ、連携について 【演習内容】介護・福祉の仕事のイメージ、学びたいこと等の意見交換	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形でどのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。	視聴覚教材
		実習 2	実習 施設見学		◎サービス現場見学 【実習内容】施設・デイサービス等を見学する。見学後、介護の仕事や印象について意見交換		
2. 介護における尊厳の保持 ・自立支援	9	通信 学習 7.5 講義 演習 1.5	(1)人権と尊厳を支える介護	寺田 紀子 市川 賀津子 吉岡 誠仁	◎個人の尊重、アドボカシー、役割の実感、尊厳のある暮らし ◎介護分野におけるICF ◎QOL、ノーマライゼーション ◎虐待防止、身体拘束禁止 ◎個人の権利を守る制度 【演習内容】ICFの考え方を学ぶ	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解している。	
			(2)自立に向けた介護		◎自立支援(動機と欲求・意欲を高める支援・個別ケア) ◎介護予防の考え方		
3. 介護の基本	6	通信 学習 3 講義 演習 3	(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携 (2)介護職の職業倫理	寺田 紀子 市川 賀津子 吉岡 誠仁	◎介護環境の特徴の理解 ◎介護の専門性(利用者主体・チームケア・根拠のある介護) ◎職業倫理	介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解している。	
			(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント		寺田 紀子 市川 賀津子 吉岡 誠仁 小杉 公美子 鈴木 信子		
			(4)介護職の安全	◎介護職の心身の健康管理 ◎感染管理 【演習内容】感染症予防対策を体験を交えて学ぶ		介護職自身の健康管理の必要性について理解している。	
4. 介護・福祉サービスの 理解と医療との連携	9	通信 学習 7.5 講義 演習 1.5	(1)介護保険制度	寺田 紀子 市川 賀津子 吉岡 誠仁	◎介護保険制度の背景・目的・動向 ◎保険制度のしくみ ◎制度を支える財源、組織の機能と役割	介護保険制度や障害者自立支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できる。	
			(2)医療との連携とリハビリテーション		寺田 紀子 市川 賀津子 吉岡 誠仁 小杉 公美子 鈴木 信子		
			(3)障害者自立支援制度およびその他制度	寺田 紀子 市川 賀津子 吉岡 誠仁			
5. 介護におけるコミュニ ケーション技術	6	通信 学習 3 講義 演習 3	(1)介護におけるコミュニケーション	寺田 紀子 市川 賀津子 吉岡 誠仁 小杉 公美子 鈴木 信子	◎介護におけるコミュニケーションの意義・目的・役割 ◎コミュニケーションの技法 ◎利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ◎利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際(視力障害・聴力障害・失語症・認知症) 【演習内容】コミュニケーションについて意見交換を交えて学ぶ	高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションをとることが専門職に求められていることを認識し、介護職として最低限取るべき(取るべきでない)行動例を理解している。	
			(2)介護におけるチームのコミュニケーション		◎記録における情報の共有化 ◎報告・連絡・相談 ◎コミュニケーションを促す環境(会議・ケアカンファレンス)		
6. 老化の理解	6	通信 学習 3 講義 演習 3	(1)老化に伴うこころとからだの変化と日常	小杉 公美子 鈴木 信子	◎老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ◎心身機能の変化と日常生活への影響(筋・骨・関節・咀嚼機能・体温維持機能・精神的機能) 【演習内容】心身の機能低下を体験や意見交換を交えて学ぶ	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。	高齢者疑似体験セット
			(2)高齢者と健康		◎高齢者の疾病 ◎高齢者に多い病気と日常生活上の留意点		

科目	科目 時間数	カリキュ ラム	項目	担当講師名	講義・演習内容	ねらい	備品
7. 認知症の理解	6	通信 学習 3 講義 演習 3	(1)認知症を取り巻く状況 (2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理  (3)認知症に伴うこととからだの変化と日常生活 (4)家族への支援	寺田 紀子 市川 賀津子 吉岡 誠仁 小杉 公美子 鈴木 信子	◎認知症ケアの理念 ◎医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理  ◎認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 ◎認知症の人への対応、介護負担の軽減 【演習内容】本人や家族の心理について意見交換	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護するときの判断基準となる原則を理解している	
8. 障害の理解	3	通信 学習 1.5 講義 演習 1.5	(1)障害の基礎的理解 (2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 (3)家族の心理、かかわり支援の理解	寺田 紀子 市川 賀津子 吉岡 誠仁 小杉 公美子 鈴木 信子	◎障害の概念とCF ◎障害の基礎知識、家族への支援 【演習内容】かかわりの支援について意見交換	障害の概念とCF、障害者福祉について理解し、介護における基本的な考え方について理解している。	
9. こととからだのしくみ と生活支援技術	75	通信 学習 3 講義 演習 7	I 基本知識の学習 (1)介護の基本的な考え方  I 基本知識の学習(再掲) (2)介護に関するところのしくみの基礎的理解 (3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解	寺田 紀子 市川 賀津子 吉岡 誠仁  小杉 公美子 鈴木 信子	◎理論と根拠に基づく介護 ◎学習と記憶の基礎知識、心の持ち方が行動に与える影響、からだの状態が心に与える影響 ◎人体の各部の名称と動きに関する基礎知識(骨・関節・筋・中枢神経・体性神経・自律神経) 【演習内容】ところのしくみを理解し、感情や意欲等について意見交換	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基本的な一部または全介助等の介護が実施できる。  尊敬を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。	スライディングシート、スライディングボード、食食用福祉用具、食器、スプーン、ゼリー、嚥下食、車いす、ベッド、介助バー、シーツ、枕、ベッドマット、防水シーツ、ポータブルトイレ、尿器、便器、紙オムツ、布オムツ、紙パナツ、尿とりパット、衣類、T字杖、四点杖、白杖、アイマスク、タオル、洗面器、温度計、シャンプー、リンス、やさしい手、ビニール袋、小春さん
		II 生活支援技術の講義・演習 (4)生活と家事	寺田 紀子 市川 賀津子 吉岡 誠仁	◎生活と家事的理解、家事援助に関する基礎的知識 ◎快適な居住環境に関する基礎知識(居住環境整備・福祉用具) ◎整容に関する基礎知識・支援方法 ◎移動・移乗に関する基礎知識、用具の活用、負担の少ない方法、ベッド上の動き、移動の介助方法、移動介助 ◎食事に関する基礎知識と支援方法、口腔ケア ◎入浴・清潔保持に関する基礎知識・支援方法 ◎排泄に関する基礎知識・支援方法 ◎睡眠に関する基礎知識、安眠のための介護の工夫、安楽な姿勢と褥瘡予防 ◎終末期に関する基礎知識、ターミナルケア  【演習内容】衣服着脱の介護、移動・移乗の介護、食事の介護、入浴の介護、清潔保持、排泄の介護、シーツ交換に関する演習			
		II 生活支援技術の講義・演習(再掲) (5)快適な居住環境整備と介護	寺田 紀子 市川 賀津子 吉岡 誠仁 小杉 公美子 鈴木 信子 木村 徹				
		II 生活支援技術の講義・演習(再掲) (6)整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (7)移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (8)食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (9)入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (10)排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (11)睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	寺田 紀子 市川 賀津子 吉岡 誠仁 小杉 公美子 鈴木 信子				
		II 生活支援技術の講義・演習(再掲) (12)死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	寺田 紀子 市川 賀津子 吉岡 誠仁 小杉 公美子 鈴木 信子				
		通信 学習 2 講義 演習 9	III 生活支援技術演習 (13)介護過程の基礎的理解 (14)総合生活支援技術演習		寺田 紀子 市川 賀津子 吉岡 誠仁		

科 目	科目 時間数	カリキュ ラム	項 目	担当講師名	講義・演習内容	ね ら い	備 品
10. 振り返り	4	講義 演習 4	(1)振り返り	寺田 紀子 市川 賀津子 吉岡 誠仁	◎研修を通して学んだこと ◎介護職が大切にすべき視点 ◎継続的な研修の必要性 【演習内容】振り返り、意見交換を行う	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。	
			(2)就業への備えと研修終了後における継続的な研修	寺田 紀子 市川 賀津子 吉岡 誠仁			
合計時間数	130	130					